

Together



ドライブシミュレーター
「SIDS」の詳細はこちら



一般社団法人 巨樹の会

下関リハビリテーション病院

〒750-0064 山口県下関市今浦町9-6 TEL.083-232-5811 FAX.083-232-0219



ドライブシミュレーター

SIDS

脳卒中後の 自動車運転 再開を支援

SIDSの対象者

病気や事故で脳の病気になった方の運転再開を支援

SIDSは、病気や事故で脳の病気になった方の運転再開を支援するための検査です。集中力や思考力などのペーパーテストを事前に行い、合格した方のみSIDSの評価を行うことができます。

SIDSの目的

「反応速度」や「複数の物事への対応」を評価

SIDSでは、ペーパーテストではなかなか測定が難しい、「反応速度」や「複数の物事への対応」を評価することができます。SIDSは、4つの検査、10項目から構成されており、機械が自動的に評価をします。この結果を受けて、医師が運転の診断を行います。

下関は坂道も多く、車がないと生活しづらい地域です。脳卒中になった後も、下関で生活していただくために、そして、自由に車を運転していただけるように、当院では自動車運転再開の評価を行っています。

運転再開できる可能性を探る



脳卒中後に運転を再開する際の最も重要な検討事項は、高次脳機能障害の程度です。高次脳機能障害とは脳に何らかの理由で損傷を受けた結果、記憶力・注意力・判断力などの認知機能に障害が生じる状態を指します。運転中には瞬時に状況を判断し、適切な反応をしなければならない場面が多々あります。例えば、他の車両や歩行者の動きに注意を払いながら交通信号の変化に迅速に対応し、かつナビゲーションの指示に従うなどの必要があります。高次脳機能障害があると、これらの一連の行動がスムーズに行えなくなり事故につながるリスクが高まります。当院では運転適性を評価するために、ペーパーテストをはじめとする複数のテストを実施しています。これらはふるい落とすための検査ではなく、患者さんが運転を再開できる可能性を探るためのものです。ペーパーテストに合格すると、次に「SIDS」と呼ばれる運転シミュレーターでの評価が行われ、その後、提携している教習所での実車による運転チェックが行われます。これらの全プロセスをクリアすると、運転再開のための公式な診断書が発行され警察に提出されます。退院後すぐに運転を再開するのが難しい場合でも、継続的なリハビリテーションを通じて多くの患者さんが時間とともに改善を見えています。発症から1年以上経過した後でも、高次脳機能の回復が見られることが多く最終的には運転再開に至った方は大勢います。当院は患者さんが安心して日常生活に復帰できるよう全力で支援いたします。



下関リハビリテーション病院 副院長 小川 浩一



脳卒中後の
自動車運転再開に
ついての解説動画